

「バルカンから響け！ 歓喜の歌」

柳澤寿男 著 晋遊舎2015年

下諏訪町出身の著者は民族紛争の耐えないバルカンの地でオーケストラの指揮者に就任し、異国の文化の違いに悪戦苦闘しながら、次第にバルカンの人々の心を理解していきます。そして、「音楽に国境はない」という強い信念を持ち、対立する民族を一堂に集めた奇跡のオーケストラ「バルカン室内管弦楽団」を立ち上げ、「世界平和コンサートプロジェクト」を始動させます。この本に書かれているベートーヴェン「第九」フラッシュモブはインターネットのYouTubeで見られます。図書館の端末でもご覧いただけます。 書評：ボランティアK



*フラッシュモブ：公共の場における突発的パフォーマンス

教育委員会からのお知らせ

町民大学 ー 下諏訪を学ぶ ⑤ ー 「メンデル講演会」

主催：公益財団法人 日本メンデル協会

主管：下諏訪町教育委員会（下諏訪町公民館、諏訪湖博物館・赤彦記念館）

日時：11月21日（土） 午後1時30分～午後3時30分

会場：文化センター 集会室 ※当日受付可（受講料一般100円、高校生以下無料）

①演題：「メンデルの遺伝法則発表から150年」

講師：東京大学名誉教授・法政大学名誉教授 長田 敏行 先生

②演題：「藻類バイオは何をもたらすか？」

講師：東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 河野 重行 先生

☎28-0002（生涯学習係）

十一月のそと

冬が来たよ！！

「えっ？もう冬なの？」と知っている方もいるでしょうし、「もう冬だねえ」と思った方もいるでしょう。暦の上で十一月は霜月と呼ばれ、その名の通り霜が降りる月とされています。また、今年十一月八日に立冬を迎え、冬の始まりをお知らせします。しかし霜月だから、立冬だからといって冬の気配を感じさせない年もあります。

みなさんにとって『冬』っていつからですか？雪が降ったら？こたつが恋しくなったら？寒さで風邪をひいたら？等々。このようなこと、考えたことありますか？

季節ってどこで変わるのかなあ？このことは春夏秋冬どの季節でも考えられますよね。ただ、季節の節目というのは人それぞれ違い、わかりづらいものです。

そこで、自分なりの季節の節目について少し考えてみてはいかがですか。そして誰かと語り合ってみてはいかがですか。どこか共感できるものがあるとおもしろいと思いますよ。

ちなみにわたしにとっての冬は誰かが厚手のコートやダウンジャケットを着ているのを見た時からです。共感していただける方、いらっしやいますか？



（太田大皓）

ちょっと拝見 & (アンド)

& (アンド)

〒393-0017

湯田仲町3156 INDECS

営業日：毎週土日月曜日

営業時間：11:00～19:00



&という店ができるまで

湯田仲町 小口 真奈実

信州大学の教育学部を卒業して、地元である諏訪に戻って今年の六月に自分のお店を始めました。「子どもの教育」の周辺に関わりたいたいという思いが強く、楽しいことから始まる学びがつかれたらいいなあと思っています。

現在はお店を週三日（毎週土・日・月曜日 ※イベント出店等も行っているため不定休）開いて、週二日地元の飲食店でサービスについて学びながら働き、週二日で長野市にあるデザイン事務所でインターンとしてグラフィックデザインの勉強をしています。

複数のことを学びながら働く、ということは大変なことではあります。自分ができることを増やしている最中です。お店を開くことになった経緯



をお話しますと、今年の三月ごろに人づてに今のお店場所を借りることができることになりました。ほどよく広いスペースがあったのでその場所で、お店を開こうかと考えました。でも、何のお店にするのかわからずなかなか決められず、オープンの直前まで悩んでいました。

お店をつくるには、まず商品を仕入れることから始まります。まちに出て、どんなものがあるか探していた時、当たり前のように手にとったのは「本」でした。

小さい頃から大好きでずっと読み続けてきた本。本だったら好きなものや気になるもの、その人の興味に合いそうなものを

人に紹介することができ、思うようになりました。そして自分のやりたいことも関連させて子どもたちが気軽にやって来られる楽しい場所にした、という想いをもっていました。

そのため、「絵本」や「児童書」を中心に置いてある古本屋をやることにしました。週末、子どもたちが絵を描いたり、何かをつくったりできるワークショップもやっていきたいなあと思、少しずつ、そんなことができるように計画しているところです。どうぞ、お楽しみに！

